

## 平成 29 年度第 2 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所： 平成 29 年 9 月 4 日（月）13 時 30 分～15 時 30 分 評議会室

出席者： 廣川理事長、堺井副理事長、倉茂理事、山根理事、田端理事、上原委員、  
小出委員、須江委員、高橋委員、村山委員、渡辺委員

事務局： 中嶋事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉野経  
営企画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ  
統括、草川地域連携推進グループ統括、中川副参事、上田主任主事  
COC+推進室 西岡教育コーディネーター、門脇就職コーディネーター

### 【審議事項】

#### （1）公立大学法人滋賀県立大学第 3 期中期目標（案）への意見について

理事長より県が策定した第 3 期中期目標（案）について資料に基づき説明があった。中期目標については県が策定するものであるが、これまでからの県とのやりとりを通じて、大学側の意見も一定反映されたものであり、また、中期目標の具体的な取組みについては、滋賀県立大学らしさも踏まえ、大学が策定する中期計画で検討していくこととし、地方独立行政法人法第 78 条第 3 項に基づく中期目標（案）に対する大学側への意見照会については、意見なしとして回答することが了承された。

#### （2）第 3 期中期計画素案について

理事長、副理事長、各理事より資料に基づき説明があった。委員からは、以下のような意見があり、出された意見等も踏まえて、第 3 期中期計画の策定作業を進め、次回の経営協議会で第 3 期中期計画案を審議することとされた。

（主な意見）

- ・授業では、教員と学生とのディスカッションをもっと取り入れるようにするとよいのではないか。また、留学生等からグローバルな視点等で意見を聞き、授業改善の参考にされるとよいのではないか。
- ・低利用地の活用について、文科省の文教施設部に国立大学の活用好事例を問い合わせ参考にとされるとよいのではないか。附属病院の空き地を業者に貸し出し、会議室を含む建物を業者で建設してもらい、効率的に会議室等を利用するような話もある。
- ・財源確保に向け、今後の方針等を整理しておくことが大事ではないか。

- ・計画を進めていくためにも自主財源マネジメントの確立は大事であり、大きな目標であってもよいのではないか。
- ・数値目標をしっかりと作ることが大事である。
- ・ブランド力を向上させること、また、計画を外部に対してしっかりと発信していくことが、外部資金の獲得にもつながると思われるので、財源確保のため戦略的に考えていくことが大事ではないか。
- ・収入確保のため、資格試験等の会場の誘致をされるとよいのではないか。

### (3) 平成 30 年度予算編成方針について

三和田財務グループ統括から資料に基づき説明があった。  
審議の結果、原案どおり承認された。

### 【報告事項】

(1) 平成 28 事業年度公立大学法人滋賀県立大学の業務の実績に関する評価結果について  
山根理事から資料に基づき報告があった。

(2) COC+の取組状況について

田端理事から資料に基づき報告があった。

### 【意見交換】

報告事項(2)のCOC+の取組状況についてを踏まえ、その取組について意見交換を行った。

(主な意見)

- ・インターンシップは業務の範囲も限られ、また仕事とは本気度も違うので、仕事の責任についてどう理解してもらうかは課題であり、大事な点でもある。
- ・インターンシップを受け入れても、新卒者の採用は難しいと考える中小企業経営者は多い。会社訪問の際に、いかに学生とコミュニケーションをとり、経営者の理念等に触れてもらい、企業を理解してもらうかが重要である。

### 【資料配布】

(1) 平成 28 年度監事監査結果報告について

(2) オープンキャンパス 2017 の結果概要について

**【その他】**

(1) 知事と学長の意見交換会について

理事長から8月31日に開催された知事と学長の意見交換会の概要について報告があった。

(2) 次回の経営協議会開催日程について

吉野経営企画グループ統括から連絡があった。